

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 プラザクリエイト

コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大橋 正信

TEL 03-3532-8826

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,212	2.7	△569	—	△565	—	△612	—
24年3月期第2四半期	7,997	△5.6	△920	—	△907	—	△1,137	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △611百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △1,139百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△158.61	—
24年3月期第2四半期	△283.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	9,546	2,143	22.4	554.94
24年3月期	10,854	2,754	25.4	713.35

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,143百万円 24年3月期 2,754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	8.4	250	—	200	—	150	—	38.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	4,612,086 株	24年3月期	4,612,086 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	750,122 株	24年3月期	750,070 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	3,862,003 株	24年3月期2Q	4,012,016 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）においては、震災からの回復など消費に緩やかな持ち直し傾向が見られ、当初予想に比べ増益は確保したものの、先行きは極めて不透明な状況となっており、総じて厳しい環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは、前期に実施した構造改革をより効果的にするため本年7月に本社を移転し本社部門と首都圏営業部門の事務所を統合し、引き続き業務効率の向上に取り組んでおります。

イメージング事業の既存店においては店舗力の強化に取り組み、第1四半期と同様に既存店売上高の前年同期比は順調に推移いたしました。モバイルショップについては、キャリアショップを中心にプリントショップからの切り替えを含めグループで16店舗出店したこと及びiPhone 5が平成24年9月に発売開始となったことなどにより販売台数が前年同期から大幅に増加いたしました。

また、現像済みネガフィルム、写真アルバム、ビデオなどアナログ時代の思い出をデジタル変換してクラウド環境上でお預かりする「おもいで玉手箱」サービスの提供など同サービスの展開を図り、事業領域の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、82億12百万円（前年同期比2.7%増）となりました。利益面では、売上高の増加とともに前期に実施した構造改革による固定費の削減効果により販売費及び一般管理費が減少し、営業損失5億69百万円（前年同期：営業損失9億20百万円）、経常損失5億65百万円（前年同期：経常損失9億7百万円）、四半期純損失6億12百万円（前年同期：四半期純損失11億37百万円）といずれも損失が大幅に縮小いたしました。

セグメント別では、イメージング事業は、前期に構造改革の一環として実施した不採算店舗の閉鎖などにより、売上高は56億16百万円（前年同期比5.2%減）と減少となったものの、その効果によりセグメント損益は4億22百万円の損失（前年同期：7億81百万円の損失）と損失が大幅に縮小いたしました。

モバイル事業は、売上高22億92百万円（前年同期比36.6%増）と増加したものの、出店コストの増加などでセグメント損益は96百万円の損失（前年同期：39百万円の損失）となりました。

その他の事業は、売上高3億3百万円（前年同期比22.6%減）、セグメント損益は46百万円の損失（前年同期：85百万円の損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産の額は、前連結会計年度末に比べ13億8百万円減少し、95億46百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が3億82百万円、受取手形及び売掛金が2億1百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債の額は、前連結会計年度末に比べ6億96百万円減少し、74億3百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1億12百万円減少し、長期借入金金が3億48百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産の額は、前連結会計年度末に比べ6億11百万円減少し、21億43百万円となりました。主な要因は、四半期純損失により利益剰余金が6億12百万円減少したことなどによるものであります。

また、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の25.4%から22.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億82百万円減少し、9億83百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が7億63百万円減少し74百万円の支出（前年同期比91.0%減）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失の減少5億23百万円などによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ収入が1億83百万円増加し1億10百万円の収入（前年同期 72百万円の支出）となりました。主な要因は、定期預金の取崩額の増加1億94百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が15億59百万円増加し4億18百万円の支出（前年同期 11億40百万円の収入）となりました。主な要因は、短期借入金の増減額の減少15億16百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想数値に修正はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度に引き続き、当第2四半期連結累計期間におきましても営業損失を計上しております。当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、以下の理由に加え、第3四半期には最大の商機である年賀需要等に注力することから継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

## ① 安定した収益体質への変革

当社グループは、モバイル事業を今後の当社グループの中核事業に位置づけ、モバイルショップの出店を加速させモバイル事業の拡大による収益の安定化に取り組んでまいります。当第2四半期連結累計期間のモバイルショップについては、キャリアショップを中心にプリントショップからの切り替えを含めグループで16店舗出店いたしました。

また、画像と通信を融合した新サービス「おもいで玉手箱」のサービス開始を機に画像保存サービスにとどまらずお客様の需要を取り込むための魅力的なサービスを付加し、イメージング事業の底上げを目指してまいります。

今年度の事業計画を着実に実行し、収益の向上に努めてまいります。なお、当第2四半期連結累計期間の進捗状況は概ね計画どおり推移しております。

## ② 構造改革の効果

前連結会計年度に実施した構造改革（希望退職の実施や既存事業のリストラクチャリングによる設備の減損など）により人件費及び減価償却費など固定費削減の効果により営業損失が前年同期に比べ大幅に縮小しております。

## ③ 不採算店舗の閉鎖

引き続き不採算店舗の閉鎖の迅速な意思決定を図り、店舗のスクラップ・アンド・ビルドを継続してまいります。当第2四半期連結累計期間はグループで55店舗を閉鎖いたしました。

## ④ 財政状態及びキャッシュ・フローの見通し

「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結財政状態に関する定性的情報」に記載のとおり、財政面では十分な自己資本比率を確保しております。また、営業キャッシュ・フローについても当連結会計年度において黒字になる見通しです。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,749,435	1,366,648
受取手形及び売掛金	1,135,739	934,545
商品及び製品	1,031,326	877,930
原材料及び貯蔵品	194,558	239,071
その他	867,074	655,047
流動資産合計	4,978,134	4,073,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,453,169	2,355,423
減価償却累計額	△1,698,623	△1,576,635
建物及び構築物(純額)	754,545	778,788
機械装置及び運搬具	5,298,709	4,956,918
減価償却累計額	△4,792,838	△4,560,832
機械装置及び運搬具(純額)	505,870	396,085
土地	1,369,090	1,364,215
その他	1,485,147	1,471,865
減価償却累計額	△1,257,446	△1,284,230
その他(純額)	227,700	187,634
有形固定資産合計	2,857,206	2,726,724
無形固定資産		
のれん	4,942	3,716
その他	406,686	461,499
無形固定資産合計	411,629	465,216
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,041,052	1,909,786
その他	573,186	379,257
貸倒引当金	△17,691	△17,474
投資その他の資産合計	2,596,548	2,271,569
固定資産合計	5,865,384	5,463,510
繰延資産		
社債発行費	11,268	9,924
繰延資産合計	11,268	9,924
資産合計	10,854,786	9,546,680

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	893,113	780,148
短期借入金	2,864,743	2,850,424
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	32,717	18,216
賞与引当金	56,147	57,136
その他	989,313	790,918
流動負債合計	4,936,035	4,596,843
固定負債		
社債	320,000	270,000
長期借入金	2,094,256	1,745,767
退職給付引当金	176,474	173,051
長期預り保証金	413,693	386,256
その他	159,373	231,599
固定負債合計	3,163,797	2,806,674
負債合計	8,099,833	7,403,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,017,880	1,017,880
資本剰余金	265,346	265,346
利益剰余金	1,945,961	1,333,396
自己株式	△454,274	△454,291
株主資本合計	2,774,913	2,162,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△19,959	△19,168
その他の包括利益累計額合計	△19,959	△19,168
純資産合計	2,754,953	2,143,162
負債純資産合計	10,854,786	9,546,680

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,997,674	8,212,788
売上原価	4,588,053	4,724,327
売上総利益	3,409,620	3,488,461
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	400,420	560,693
給料手当及び賞与	750,948	657,382
賞与引当金繰入額	57,842	57,136
雑給	835,674	693,728
賃借料	672,112	607,427
のれん償却額	21,518	1,226
貸倒引当金繰入額	—	1,474
その他	1,591,312	1,479,211
販売費及び一般管理費合計	4,329,829	4,058,281
営業損失(△)	△920,208	△569,819
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,334	2,779
協賛金収入	35,399	39,340
その他	38,483	31,052
営業外収益合計	76,217	73,172
営業外費用		
支払利息	46,136	44,725
その他	17,078	24,533
営業外費用合計	63,214	69,259
経常損失(△)	△907,206	△565,906
特別利益		
固定資産売却益	11,596	14,767
受取補償金	8,000	—
特別利益合計	19,596	14,767
特別損失		
減損損失	48,378	30,901
店舗閉鎖損失	24,262	20,946
特別退職金	140,609	—
災害義援金	25,500	—
特別損失合計	238,751	51,847
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,126,360	△602,986
法人税、住民税及び事業税	13,959	15,382
法人税等調整額	△3,262	△5,803
法人税等合計	10,697	9,578
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,137,058	△612,565
四半期純損失(△)	△1,137,058	△612,565

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,137,058	△612,565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,169	791
その他の包括利益合計	△2,169	791
四半期包括利益	△1,139,227	△611,774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,139,227	△611,774
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,126,360	△602,986
減価償却費	426,921	356,012
減損損失	48,378	30,901
のれん償却額	21,518	1,226
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,784	△216
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△294,418	△3,423
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△44,400	—
受取利息及び受取配当金	△2,334	△2,779
支払利息	46,136	44,725
固定資産売却損益(△は益)	△11,596	△14,767
売上債権の増減額(△は増加)	△123,485	200,084
たな卸資産の増減額(△は増加)	△177,017	108,882
仕入債務の増減額(△は減少)	130,136	△112,964
その他	345,931	△7,016
小計	△762,374	△2,322
利息及び配当金の受取額	3,004	3,457
利息の支払額	△46,327	△44,940
法人税等の支払額	△32,108	△30,269
営業活動によるキャッシュ・フロー	△837,805	△74,075
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	6,000	200,000
有形固定資産の取得による支出	△234,564	△197,440
有形固定資産の売却による収入	19,327	26,769
無形固定資産の取得による支出	△47,522	△94,949
投資有価証券の取得による支出	△1,968	△1,954
投資有価証券の売却による収入	—	40,962
貸付金の回収による収入	536	101
敷金及び保証金の回収による収入	270,010	315,951
その他	△84,626	△178,777
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,808	110,662
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,671,000	154,002
長期借入れによる収入	400,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△1,015,100	△916,810
社債の発行による収入	194,782	—
社債の償還による支出	△30,000	△50,000
配当金の支払額	△79,685	△48
リース債務の返済による支出	—	△16,283
セール・アンド・リースバックによる収入	—	57,219
その他	—	△46,772
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,140,997	△418,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,255	△680
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	229,128	△382,786
現金及び現金同等物の期首残高	1,441,515	1,366,435
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,670,644	983,648

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	イメージング	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,926,730	1,678,776	7,605,507	392,166	7,997,674	—	7,997,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,741	567	19,309	15,922	35,231	△35,231	—
計	5,945,472	1,679,344	7,624,816	408,089	8,032,905	△35,231	7,997,674
セグメント利益 又は損失(△)	△781,788	△39,276	△821,064	△85,865	△906,930	△275	△907,206

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失(△)と調整を行っております。

4. イメージング事業において、デジタルプリントサービスとスマートフォンなど通信端末を取り扱う複合ショップを展開しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、退店の確定した店舗又は過去2期連続赤字店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「イメージング事業」は45,552千円、「モバイル事業」は2,825千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	イメージング	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,616,521	2,292,880	7,909,401	303,386	8,212,788	—	8,212,788
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,298	—	18,298	121	18,419	△18,419	—
計	5,634,819	2,292,880	7,927,700	303,508	8,231,208	△18,419	8,212,788
セグメント利益 又は損失(△)	△422,501	△96,019	△518,521	△46,706	△565,227	△678	△565,906

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失(△)と調整を行っております。

4. イメージング事業において、デジタルプリントサービスとスマートフォンなど通信端末を取り扱う複合ショップを展開しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において30,249千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。